

2026年度 一般社団法人 高岡青年会議所	
JCブランド確立委員会	
委員長 金森 正弘	
設置背景	<p>(現状) (一社)高岡青年会議所には多様な背景を持つメンバーが在籍していますが、JC活動の本質的な価値や魅力が十分に共有されず、JC活動を「自分ごと」として捉える意識が育ちにくい現状があります。</p> <p>(課題) 組織全体に誇りと活力を生み出すためには、メンバー一人ひとりが自身の役割や意味を実感し、互いの想いを共有することが求められます。</p> <p>(あるべき姿) 高岡JCへの誇りと使命感を持って運動へ参画することで、内発的なエンゲージメントが高まり、その熱意が自然と外部へ溢れ出し、地域に共感の輪を広げることが必要不可欠です。</p>
設置目的	主体的な参画意識を高めること
運動計画	<p>1.対内外に向けた広報(年間) 地域社会により多くの共感者を増やすため、LOM単位で年間を通して広報活動を行います。また、メンバー間の連携や、JC活動の魅力を多く伝播するために、インナーブランディングの整備を行い、組織の一体感を醸成します。</p> <p>2.例会の実施(3月) JC活動を「自分ごと」ととらえるため、3月度例会を行い、自身を振り返り、未来を想像する場をつくり、メンバーの熱量を呼び起こすことが、高岡JCの価値を地域や身近な方に発信・共感を広げることができることにつながります。</p> <p>3.韓国大邱壽城青年会議所(姉妹JC)交流・・・(春・秋) 青年経済人として、自身、会社、地域の為に、日本と韓国の経済構造の違いに触れる交流を図り、企業文化、経済面での考え方を学ぶ場を創出します。 また、姉妹JCとして、文化を超えた交流を図ります。</p> <p>4.出向者の学び共有の機会の創出(10月) 出向の魅力を広く伝え、次年度の出向者や出向希望者の意欲を高めるために、LOM活動では得られない新たな出会いや挑戦の経験を共有する報告会を開催し、出向者が出向先で得た学びや成長を言語化することで、出向するという、未来への価値を実感できる機会を創出します。</p>
その他	<p>■LOM一丸となった会員拡大 ■まちのビジョンに基づいた事業の実施 ■日本JC・北陸信越地区協議会・富山ブロック協議会への協力並びに出向者支援 ■京都会議の参加促進(1月)</p>
パートナー	<p>1.)行政(高岡市役所・高岡市観光交流課) 2.)(公社)日本青年会議所、北陸信越地区協議会、富山ブロック協議会 3.)地域の企業並びに各諸団体 4.)韓国大邱壽城青年会議所 5.)富山新聞高岡支社</p>
参考資料	<p>JC活動意欲調査アンケート アンケートからの現状考察</p>